



介護施設、住宅・店舗の設計、施工、運営を行い、デイサービスカフェを始め、世界規模で進む高齢社会の問題解決のために、サプリメントの開発にも取り組むだけでなく海外展開を開始し、果てはSDGsに貢献するために水事業も始めたMIYABI HOUSEの今をお伝えします。

MIYABI HOUSEのいま

建築と介護 二足の草鞋を履く

本社隣接の「認知症対応型デイサービス」は実践の場

雅家新聞 第1号 (2022年7月発行) の「MIYABI HOUSE今昔物語」にてご紹介した通り、弊社は「設計事務所」と「介護施設」の経営という、相反する事業を展開しています。



本社に隣接して建てられた、認知症に特化した「デイサービスありがとう」は開設20年。

認知症実践者研修を修了したスタッフがおり、認知症でお困りのご利用者様や認知症介護でお困りのご家族様をサポートするために、ご家族様に寄り添った助言や相談を行っています。

介護食アドバイザーの資格を持つ厨房スタッフが毎日提供する、心を込めた手作り料理が自慢です。

快適な時間を過ごして頂くための**建築**

快適な日々を過ごして頂くための**ケアプラン**

快適な人生を過ごして頂くための**サプリメント**

これらが三位一体となって、初めて「その人らしい人生」を過ごしていただけたらと思います、無茶ともいえる二足の草鞋を履き、日々進んでおります。

<https://miyabisupport.jbplt.jp/>

なお、2020年までは8つの介護事業所を抱える、愛知県刈谷市でも有数の大規模介護事業所でしたが、サプリメント事業へ注力するために6事業所の経営権を譲渡し、現在では認知症対応型デイサービスと居宅介護支援事業所の2か所を運営しております。

現在でも全ての事業所において顧問を務め、また認知症を患う方のケアプラン作成を行うなど、日々100名を超える方々と向き合っております。

ミヤビサポートデイサービス刈谷 **検索**



商品のご紹介

“memory recover”

【キーワードは「繋がる」「戻る」「はっきりする」】

マックスバランスは、知のバランスをサポートする5つの健康素材が1つになったサプリメントです。

主原料の「バコパモニエラ」はインドでは約3000年前より、記憶や集中のキーワードとなるハーブとして使用されてきました。

サポート素材の「ホスファチジルセリン」はシグナル伝達に必要とされ、様々な働きが認められることからサプリメントの原材料として世界中で注目されています。

「シナモン」は世界で最も古くから用いられている香辛料の一つであり、中国最古の薬学書「神農本草経」にも記載されています。

この他に陳皮の果皮および薄皮に多く含まれるポリフェノール「ヘスペリジン」、果実に「ナリルチン」などのフラボノイドを含むじゃばらを配合し、知のバランスを強力にサポートします。



形状：カプセルタイプ
入数：140カプセル

7,600円 (税込)

お問合せは受注センターまで TEL: 0120-332-390



実録 介護施設の経営

私は長年にわたり、経営者として有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護・看護、福祉用具貸与事業に携わり、現在では居宅介護支援事業所、デイサービスを経営、介護施設コンサルティングもおこなっています。

昨今、介護施設の倒産が社会問題となっており、今後もこの流れが続くと予測されています。今回はとある介護施設の経営者から相談された話を紹介します。

有料老人ホームの収入は、大きく分けて「家賃」、「管理費」、「食費」、そして「介護保険料」です。

※補足：施設によって家賃や管理費は大きく異なりますが、介護保険料収入は地域で若干異なるものの、利用者様が1か月に利用できる上限は要介護1の167,650円から要介護5の362,170円で固定されており、利用時には1割～3割の自己負担が生じます。

今回相談があった有料老人ホームの定員は20名で、平均介護度は「要介護2」でした。単純に1か月当たり「要介護2：197,050円」×20名＝3,941,000円の収入となり、保険外の費用として入居者様から「月額家賃50,000円」、「管理費35,000円」、「食費45,000円」の合計130,000円を頂戴します。

介護保険収入と保険外の費用（収入）を合わせると一人当たり「327,050円」が施設の収入となり、有料老人ホーム1か月の売り上げは20名×327,050円＝6,541,000円となります。

皆様はこの金額をどう思われるでしょうか？

結論から言いますと完全な赤字経営状態です。

定員20名の施設が負担する1か月の経費は、「人件費：350万円」、「建物費（固定費）：80万円～120万円」、「水道光熱費：30万円」、「食材料費：100万円」、「その他の必要経費：120万円（車両費、事務用品費、税金、通信費、リース等）」＝680万円です。

この時点で赤字経営となり、運転資金の借入れを行うため雪だるま式に経営が悪化していきます。全国ではこのような介護施設が後を絶ちません。

私が施設を経営者されている皆さまへ常々伝えている言葉が

介護が必要なご利用者様にとって、絶対にしてはいけないことは「施設閉鎖」

施設行事や食事、介護への理想は必要です。

しかし、施設を閉鎖してしまえばどれも提供することができないからです。

特に認知症の方にとって住み替えは、生命予後を脅かすほどの出来事になります。



倒産する多くの施設は良い介護をすれば施設は続くと考え、利用者は見ているが経営を見ていない傾向があります。

これが、私のところへ相談に来る経営者の現状です。

それではどうすればよいか？ それには、売り上げを増やすしか方法はありません。

しかし、手っ取り早く介護保険料の収入を増やすために、入居者様の平均介護度を2から3にすれば完全な黒字経営となりますが、簡単な話ではありません。

日本の介護保険制度（要介護認定制度）は、認知症の方々にとって不利になる場合もあるのです。

次回は認知症の方の要介護認定についてお話しします。

※「MIYABI HOUSE 今昔物語」はお休みします。

株式会社MIYABI HOUSE

住所：愛知県刈谷市恩田町3丁目159-15

電話：0566-93-5301

URL：<https://miyabihouse.co.jp/>

E-mail：info@miyabihouse.co.jp

編集後記

2022年12月に発売を開始した「シンバル® C」は、お使いいただいている先生から感謝のお言葉を数多く頂戴しております。

現代は孤立と孤独が共存し不安を抱えている方が多いと思います。是非1度お試しください。サンプルがございます。（野崎）